

第15期開放講座

「水と街道」だより 最終回 第5回

発行：平成26年2月 発行
 発行元：国土交通省中部地方整備局
 多治見砂防国道事務所
 開放講座「水と街道」事務局
 電話：0572-25-8020

【第5回 開催概要】

開講日時：平成26年1月16日(木) 9:30~16:00

参加者：17名

内容(場所)：現場見学(「水と街道」東濃西部会活動現場)、砂防現場見学(浦山第二砂防堰堤他 妻木町砂防遺産のある町)、地域づくり団体交流会、談合についての講義、閉講式

地域づくり活動現場見学(「水と街道」東濃西部会 -多治見市下沢町-)

当講座OBによる地域づくり団体で、多治見市の生田川(いくたがわ)周辺の整備をしている「水と街道」東濃西部会の活動現場を見学しました。この現場は、竹・立木の伐採、除草活動を実施することにより「地域住民の憩いの場」として整備されているところです



東濃西部会会長がこれまでの活動と今後の予定を説明

砂防現場見学(妻木町砂防遺産のある町さんぽ構想 -土岐市妻木町-)

次に土岐市妻木町で計画中の妻木町砂防遺産のある町さんぽ構想の一部を体験しました。同さんぽ構想は地域住民・小中学生・観光客等が砂防遺産や妻木町の歴史文化を巡る『さんぽ』を通じて、地域社会における砂防との関わりを気軽に楽しく体験・学習できるように環境を整備する構想です。

妻木公民館の郷土資料室、妻木城土屋敷跡、浦山第二砂防堰堤、八幡神社を見学しました。



妻木公民館の妻木町模型で解説



城の説明看板の後方に屋敷跡の石垣



屋敷跡と堰堤の石垣の接合部

妻木城址の会の方が、妻木町の歴史、城の石垣や、神社の鳥居や石垣から石積の堰堤につながる石工(いしく:石を積む技術者)の話などを解説。郷土料理



妻木出張所長が堰堤を説明

昭和18年に石積で造られた浦山第二砂防堰堤(登録有形文化財)右岸袖部は城址の石垣と一体化し



八幡神社の石鳥居は、江戸時代に建てられて以来、地震などで倒壊することなく現在に至っています。神社で飼育されている木曾馬の「秀

地域づくり団体交流会(各市民団体のボランティア活動紹介)

午後は、当講座OBが中心となって活動している「地域づくり5団体」との交流会が行われました。各団体それぞれが地域で実施している里山づくり、防災活動、河川などの環境美化活動などの紹介に、会員の皆さんも熱心に耳を傾けていました。

今回ご紹介させていただいた団体以外にも、各地域で様々な団体が活動されています。みなさんも開放講座「水と街道」の受講を機に、地域のためのボランティア活動に参加されてみては、いかがでしょう



開放講座「水と街道」OB団体

- 「水と街道」東濃会
- 「水と街道」東濃西部会
- 「水と街道」虎溪山の里山づくり
- 「水と街道」え〜な〜会

談合についての講義

最後の講座として、近年の談合対策についての講義を行いました。手続き的な内容で堅苦しくなるかと思いましたが、5回にわたり現場を見てきた上での講義でしたので、工事などの全体の流れがより理



講師の当事務所副所長



閉講式

最後に閉講式を行い、事務所スタッフやOB団体のみなさんもいっしょに記念撮影をしました。修了証書授与式では、事務所長より会員の皆さん17名、一人一人に修了証書が手渡されました。

本講座で得た知識や経験が、皆さんの今後の地域におけるボランティア



修了証書授与



事務所長挨拶



＝第15期開放講座「水と街道」の閉講にあたり参加者のみなさまへ＝

この度は、当事務所が主催する開放講座「水と街道」にご参加いただきまして、誠にありがとうございました。至らない点多々あったかと思いますが、無事全5回を終了することができたのも、皆様のご協力のおかげと、スタッフ一同大変感謝しております。

今回の講座で、皆様からいただいた貴重なご意見、ご感想を今後の講座に活かし、より質の高い開放講座「水と街道」にできるよう努めるとともに、当事務所の事業執行にも活かしてまいります。末筆ではございますが、皆様が「健康」で「生き生き」と、地域でご活躍されることを祈念しております。

またお会いしましょう!!

(開放講座「水と街道」スタッフ一同)